

第 51 回 地域協議会（地域医療支援委員会）議事概要

【日 時】平成 31 年 2 月 8 日（金） 19：30～20：30

【場 所】人吉医療センター3階 講堂

【出席者】岐部 明廣（人吉市医師会会長）
犬童 裕成（球磨郡医師会理事）
近藤 浩之（球磨郡医師会副会長）
河内 謙介（西諸医師会理事）
水間 良裕（伊佐市医師会副会長）
清水 雅英（人吉市歯科医師会理事）
山村 礼二（球磨郡歯科医師会理事）
村田 圭介（人吉球磨薬剤師会会長）
緒方 敬子（熊本県人吉保健所）
告吉 眞二郎（人吉市健康福祉部部長）
原田 和紀（えびの市健康保険課課長）
有園 良介（伊佐市総務課課長）
大瀬 敏克（利用者、学識経験者）
末次 美代（学識経験者）
大竹 秀幸（人吉医療センター副院長）
石神 哲郎（人吉医療センター歯科口腔外科センター長）
入部 直子（人吉医療センター看護部部長）
作元 功（人吉医療センター事務部部長）
西山 三智（人吉医療センター総務企画課課長）
山田 一裕（人吉医療センター医療福祉連携室）
小田 薫子（人吉医療センター医療福祉連携室）

【欠席者】山田 和彦（人吉市医師会副会長）
木村 正美（人吉医療センター院長）
下川 恭弘（人吉医療センター副院長）
黒木 美佐（人吉医療センター総務企画課係長）

（敬称略 出席 計 21 名）

【概 要】

一、開会（事務局）

二、院長挨拶

三、議長挨拶

四、議題（議長）

1. 登録医承認（事務局）

登録医、登録削除 1 名、現在登録医数 249 名（別紙参照）

→全会一致で承認

2. 救急患者、紹介・逆紹介患者について（事務局）

（別紙参照）。紹介患者数と逆紹介患者数は例年と同じ位の数で推移。

紹介率と逆紹介率については、紹介率も上がっており、特に逆紹介率は 12 月は 152%となっている。歯科の紹介患者数と逆紹介患者数も例年と比べ増加傾向。

→全会一致で承認

・岐部議員

紹介患者数と逆紹介患者数の差が大きいですが、その差は紹介なしで来院した患者と考えてよいのか
→紹介なしで受診された患者を別病院に逆紹介することもある。

3. 要望・ご意見（人吉保健所、人吉球磨薬剤師会）

<人吉保健所>

・緒方議員

結核接触者検診を受診された患者がいたが、受診した際、検査データが伝わっておらず、再診をしたことがあった。

→従来呼吸器内科のクラークが取りまとめていたが、担当者の交代等もあり、引き継が上手くできておらず、保健所から出ている検査データを医師が確認できていなかったことが判明した。

対策として受診時に医事課で書類の仕分けしていく。

・緒方議員

感染症について情報提供あり（スライド使用）。

2018年の熊本県における感染症の発生動向は、1類感染症の届け出はあっていない。2類感染症は結核のみの報告。3類感染症は腸管出血性大腸菌感染症が一番多く発生している。4類感染症はSFTSが1件～5件発生している。

熊本県における結核新登録患者罹患率は13.3%（人口10万人あたりの数値）。国では10%以下を目指している。外国人で国内にて結核を発症した新登録患者数の推移はH28年から29年にかけて増加傾向にある。

SFTSは新興感染症とされており、日本では2013年に初めて感染者が発生。国内の報告数は60～90件となっている。届出地域は西日本が多いとされている。高齢者の方に感染が多い傾向にある。風疹については、2018年の33週あたりから患者数が増加し、現在、2019年に入ってから180件の報告が上がっている。

熊本県では風疹抗体検査の補助を行っており、当制度の対象者は無料で抗体検査を受けることができる。

梅毒の感染者数も増えている。

<人吉球磨薬剤師会>

・村田議員

外来で処方箋と一緒に検査結果を付けて頂いているので、検査結果を見ながら投与量が適正であるかなど確認ができるようになった。しかし、患者さんの中には見せてもらえない方がいるので、病院の方からも検査結果を付けている理由を説明していただきたい。

また、退院時共同カンファレンスを開催する際、外部の薬剤師が参加することで算定が可能である。声をかけて頂ければ可能な限り参加したい。

→・当院薬剤科 福島科長

検査データの添付を行うことで、腎機能などを考慮し処方がされている傾向にある。当院からも薬剤師より検査データの提示の意義について患者さんへ説明を行っていきたい。

退院時共同カンファレンスについては、退院後外来での治療継続が重要で、情報共有が大切であると考えているため、カンファレンス開催日や時間の調整を行い調剤薬局にも是非参加をお願いしたい。また、情報共有という面では、人吉球磨薬剤師会と当院薬局と協働し、情報共有シートを検討・作成を行っていく予定。

・岐部議員

人吉医師会には検査データを付ける話を聞いていないと思う。個人情報保護も徹底して頂く必要もあると思う。

→当院薬剤科 福島科長

以前、この地域協議会でこの件について取り上げたことがあります。再度説明が必要であれば、各医師会等で説明を行うことを検討していく。また、当院では検査データの取り扱いについて同意書を作成し運用を行っている。

→・村田議員

検査データの保管は、電子薬歴というものがあり、その中に検査データを一部入力し保管するもしくは、患者さんから同意を得て検査データを保存しておくことがある。

→・事務局

熊本メディカルネットワークでは個人の同意を得て登録、薬局も利用することができる。薬局も活用をしてもいいのでは。

→・村田議員

調剤薬局でも熊本メディカルネットワークの普及も行っていきたい。

4. その他

・事務局

5月の連休の体制については、JCHO本部から地域の皆様へ周知するよう通知がきている。当院は10連休の休日当番体制となった。

・岐部議員

人吉医療センターに地域在宅医療サポートセンターの設置を検討頂けないか。

→検討してみる。

五、閉会

—以上—